

Kankyo shimbun

環境就職ナビ
2019 ガイド

発行所 株式会社環境新聞社 © 環境新聞社 2018
東京本社 TEL (03) 3359-5371 FAX (03) 3351-1939
〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 (第1富澤ビル)
大阪支社 TEL (06) 6252-5895 FAX (06) 6252-5896
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-1-15

新規購読用 (0120) 1972-65
http://www.kankyo-news.co.jp/
振替口座 00150-5-20286
年間購読料 24000円+税

「環境」を仕事にする ——ビジネス動向と就職の心得

株式会社エコジョブ・ドットコム 代表取締役 **根岸 弥之**

はじめに

環境の就職を考えるに当たり、2015年国連総会にて採択された、世界が進むべき方向性、SDGsから理解を進める必要がある。SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略で、2030年に向けた「持続可能な開発へ世界を変革する行動計画と具体的行動指針」のことである。17の目標からなるが、その中で環境に関するものが、目標6(全世界に安全な水とトイレ)、目標11(住み続けられる都市)、目標12(持続可能な生産・消費)、「目標13(気候変動への対策)」、「目標14(海洋の保全)」、「目標15(生態系・森林の保全)」の6つとなる。

日本においても、環境省は2018年度における重点施策集の1番目として、新たな経済成長にもつながる気候変動対策を挙げている。具体的には、①省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・展開などの排出削減策と②気候変動適応策の強化と適応ビジネスを推進するとしている。

第2次世界大戦後の高度成長による公害を克服した日本の環境技術の歴史に、SDGs等の世界の新しい潮流、再生可能エネルギー分野に向かう世界の投資の流れ、日本の政策を取り込みながら、幅広い業界や分野に存在する現在の環境の仕事を分類する。

1. 環境の仕事の4大分類

ここではまず環境に関わる仕事をその組織母体の形態から①環境ビジネス(民間企業)系②公務員系③NGO・NPO系④その他(アカデミックや専門職等)——の4つに大きく分類する。その中で①環境ビジネス分野を、さらに業種によって10分類。環境ビジネスの業種や会社は、一般的な業種分類の中に広くまたがっており、分かりにくい点があるので、ここでは特に詳細に記すこととする。

- ①環境ビジネス10中分類(民間企業)
- ②公務員系…国、地方公務員、独立行政法人等、公益法人、国際公務員等
- ③NGO・NPO系…地域～国際環境NGO、環境NPO、一般社団法人等
- ④その他…大学等研究機関、環境系の弁護士、メディア等の専門職等

2. 環境ビジネス各分野の現状&将来

a. 公害汚染防止

大気(PM2.5等)、工場排水処理、騒音、振動、悪臭等旧公害対策基本法典型7公害の汚染防止の業務。

工場等から排出されるPM2.5等の大気汚染の防止や排水処理等、公害汚染を防止する産業。海外ではend of pipe産業とも言う。日本はかつて工業化に伴い深刻な公害が発生し、苦難の上に生まれた環境技術で、世界をリードする分野。工場の動きとも深く関わるので、日本経済(GNP等)や工業の動きとも連動しやすい。

b. 建設コンサル系環境コンサルティング

自然&生活環境の調査、設計、計画、アセス等の主に建設コンサルティング業の環境部署での事業。

日本の建設コンサルティング業界に属する。公共事業に伴う設計、環境調査、環境アセスメントが多いので、国の公共事業の予算に左右されやすい。民主党政権時代は「コンクリートから人へ」の予算シフトで落ち込んだ業界だが、自民党政権となり赤字建設国債による未曾有の財政出動やオリンピック景気で現在は活性化と共に人手不足の状況。

c. 環境分析関連

大気、水質、土壌、食品、アスベスト、シックハウス、放射性物質、騒音、振動等の測定分析業務。

地方自治体や環境省による大気や水質の定期調査や各施設、民間工場から

排出される排水や大気汚染物質の分析、震災後は食品や農林水産物の放射性物質の分析業務が増加。業界全体として日本のGNPの動きとも連動しやすい。

d. 再生可能エネルギー・省エネルギー

太陽光/熱、風力、バイオマス、地熱、中小水力発電等の固定価格買取制度での再生エネルギー事業

震災後の2012年以降は、固定価格買取制度等による「再生可能エネルギー利用」の急成長に伴い、「クリーンエネルギー」分野の市場規模が大きく増加。2015年12月、世界の国々は2020年以降の温室効果ガスの削減に対する国際的なルールを定めた「パリ協定」を採択した。2017年に米トランプ大統領がパリ協定離脱を宣言し懸念材料となったが、世界の「脱炭素」の潮流は変わらない様子。

現在太陽光から得られる電気は20%しか電力に変換できず効率が悪いが、効率的な貯蔵方法や、新しい色素増感材料、薄膜材料、人工光合成の技術が進めば、地球最大のエネルギー資源になるとも予測されている。

e. リサイクル・廃棄物処理

廃棄物や自動車、家電、食品、建設等リサイクル。リユース市場拡大。収集、運搬、適性処理&処分。

日本は工業立国からサービス業等の第3次産業の割合が増え、必然的に廃棄物処理も減少し、安定ながらも緩やかな下降線の業界だが、リサイクル技術の向上やリサイクル意識の高まりは上昇し続けているので、気鋭な成長企業も少なくない。AIやIoTを使った無人分別プラントを開発する協会も立ち上がっている。業界全体として日本のGNPの動きとも連動しやすい。

f. 環境浄化、保全、修復

上下水道。土壌汚染調査/浄化。アスベストや放射性物質の除染。緑化全般。河川、湖沼等の再生。

土壌汚染浄化は工場跡地のマンション化等土地の取引が活発になると浄化件数も増えるが現在は需要も一服傾向。都市緑化、屋上緑化、工場緑化は省エネ観点からも増加傾向。ビオトープはそもそも市場自体が小さい。放射能汚染に対する浄化や減容化技術も高まっている。

g. オーガニック

有機農産物、加工食品、畜産、有機飼料、飲料・酒類からコットン、化粧品等の生産、流通、商社、小売り、外食まで。持続可能な水産や森林認証も含む。

消費者の安全志向の高まりから有機農産物の需要は高まる一方で、それに



伴う農家や商社も上昇傾向。

h. 環境調和型材料・製品の製造・販売

素材：鉛フリーはんだ、生分解性プラスチック、LED、光触媒、炭素繊維、脱硝触媒、植物インク、RO膜等製品：低燃費低公害自動車、省エネ家電、日用品等

「低燃費・排出認定車」・「ハイブリッド自動車」等の成長をはじめ、エコカーのみならず、全ての分野で、省エネ、環境配慮、健康、有害物質の不使用に配慮した製品が拡大。

i. グリーンビルディング

省エネ住宅、スマートハウス、省エネルギー設備HEMS、BEMS、ZEB、ZEH、屋上・壁面・敷地緑化、コジェネレーション、地中熱等

環境省が今年度最初に掲げている重要施策がネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業であり、一歩進んでいるネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング(ZEB)においては、すでに多くの地域で成功している。ビル施設の電気や空調システムの進化も著しい。

j. その他

金融(ESG投資等)、IT(web/ソフト/システム)、シンクタンク、ISO14000s等環境マネジメント等、環境経営支援(CSRレポート等)

ESG投資とは、投資先の会社におけるEnvironmental(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の3つの要素を考慮した投資のことで、2016年、日本の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、ESGに積極的に取り組んでいる会社への投資に乗り出す準備の開始を発表し、将来的には数兆円の規模に膨らむ予測もある。世界全体におけるESG投資残高は約2580兆円。

3. 環境業界の業種と会社の絞り方

(1) 環境分野の全体把握

環境問題の把握、どのような地域環境問題、地球環境問題、人や生物への問題等があるのか。環境分野には、具



SDGsの17目標のうち環境に関するもの

体的にどのような業界、団体、会社、仕事があるのか。

(2) 自分の興味、やりたい事の確認

いつから環境に興味を持ったのか、何がきっかけだったのか。どの分野に興味や問題意識があるのか。将来どの分野の環境問題をどの立場で改善したいのか。

(3) 業種や職種、会社の絞り込み

環境分野において業界、職種、会社を絞り込むには、まず絞り込む「観点」を決めることが重要。ここでいう「観点」とは絞り込む時の基準のようなもの。ではどのような「観点」があるか下記を参考にしていきたい。

- ・環境分野の中でどの立場から仕事をしたいのか（民間、NPO、公務員、アカデミック等）。
- ・自分の興味だけでなく、特に職種においては自分の得意不得意、適性等はあるか。
- ・業界の中で、大企業等安定志向の会社か、ベンチャー志向の会社か。
- ・環境理念先行型の会社か、ビジネス先行型の会社か。
- ・会社の社長や創業者の理念、信条、技術への共鳴を重要視するか。
- ・創業間もない小ベンチャーにて、創業メンバーからやりたいか。
- ・早くから裁量や意思決定のできる環境を選ぶか。
- ・英語や外国語を使う仕事か。
- ・海外出張、海外赴任のある会社か、希

望するか。

- ・国内外での勤務場所、転勤の有無。
- ・会社の中でどの職種（技術職、営業職等）を選ぶか。
- ・自分のアカデミックバックグラウンドが職種で通用するか。
- ・会社でどの職種を希望するか。※環境会社においては、どの職種でも、その会社の事業が地域環境、地球環境の改善に貢献していれば、その会社に貢献することによって、間接的に地域環境、地球環境に貢献することになる。

4. 環境就職でよくある疑問

- ・ホームページ（HP）で求人情報が出ていない企業への応募について
実際募集していない会社も多いが、数割程度は募集を検討しているケースが見受けられる。応募の場合は手紙、メール、電話の順がお勧め。
- ・HP の印象と企業の実態について
HP のセンスの良さと会社のセンスの良さは関係している部分もあるが、環境分野の企業においては、環境技術や経営が立派でも、HP に力を入れていない会社も少なくなく、また反対に中身の薄い会社でも HP だけ立派な会社もよく見かる。
- ・人材会社（ナビ等含）利用の重要注意点
ナビ運営等人材会社は民間企業なので求人企業は採用コストがかかるが、採用コストをかけたくない会社は自社

HP のみで採用。この場合競争率は劇的に低く、また応募者のサーチ能力を高く評価してくれる。大手ナビ、専門ナビを両車輪に、探すのは自身が望ましい。

- ・良い環境会社を見極めるポイント

HP でよく見ることは事業内容と会社の沿革、そして調べられる範囲で離職率（会社四季報等）。良い会社はやはり離職率が低い。採用ばかりしている会社は、事業拡大中あるいは離職率が高い、のどちらかで、残念ながら後者が多い。

- ・新卒文系出身の環境の仕事

地域あるいは地球環境の改善に貢献している会社であれば、社員がその会社に貢献することにより、地域や地球の環境改善に間接的につながっている。そのような会社では全ての職種が環境の仕事と言える。

- ・採用意欲の差の注意点

採用予定数より採用数が少ない会社等、求人企業の採用活動において、「必要に迫れての求人」と「良い人材がいた場合のみ採用」との会社では、同じ一つの求人でも採用される確立は天地の差があるので注意。

- ・競争率が高い会社へ応募の注意点

環境業界は BtoB 型のビジネススタイルなので、会社名が知られていなくても、優良な会社はたくさんある。ネットやメディアで名前のみが有名に先行した会社は、特に競争率が高くなる。

- ・環境経営のしっかりしている会社の調べ方

会社が自ら発信する CSR（環境）報告書や外部評価の ESG ランキング等があるが、どれにしても、具体的に何をもとに、あるいは基準に評価しているのかが大事。

- ・環境分野企業の平均年収

業種によって大きな違いがあり、決して高い水準ではないが標準レベル。税金による政府、あるいは寄付による NPO 等と違い、市場の中で採算が取れる事業が環境ビジネスの定義の一つ。

おわりに

環境理念、ビジネス、採用条件等のバランスの中で、希望の会社を探すのが第一だが、環境に対する社会貢献や自己実現は、環境就職のみならず NPO・NGO、個人、地域、社会活動でも可能なので、環境就職にこだわり過ぎないことも大事。

環境業界には古い歴史のある業界から新しい業界までであるが、古い業界には新しい時代に対応できる変化の力が必要で、新しい業界には着実に成長する基礎の力が必要となる。意欲も理念もある若い世代はこの環境業界には欠かせなく、環境業界の発展が地域環境や地球環境の改善につながる事となる。

環境就職ナビ 2019
会社合同説明会



参加企業一覧	
①	アス・プランテック株式会社
②	内藤環境管理株式会社
③	株式会社日吉
④	静和ケミカルサービス株式会社
⑤	管清工業株式会社
⑥	東芝プラントシステム株式会社
⑦	ヤシマ工業株式会社
⑧	恵和興業株式会社
⑨	株式会社エステム
⑩	一般財団法人日本環境衛生センター
⑪	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
⑫	EcoJob 環境就職・相談コーナー
⑬	株式会社カルモア